

第584回 新潟放送番組審議会 議事録

審議番組

BSN 新潟放送創立60周年特番

「SADO GOLDEN ROAD 世界を巡った佐渡小判」



平成 25 年 1 月 29 日

BSN新潟放送

第584回新潟放送番組審議会

1.開催日時 平成25年1月29日(火)午前11:00~

2.開催場所 BSN本社6階会議室

3.委員の出席

委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長 松川公敏	副委員長 相羽利子
委員 古賀豊	委員 正道かほる
委員 小島良子	

委員側欠席者(敬称略・順不同)

委員 渡辺隆	委員 高井盛雄
委員 佐々木広介	委員 齋藤俊太郎
委員 行形貴子	

新潟放送側出席者

社長 竹石松次	常務 熊倉雄三
常務 梅津雅之	編成局長 野島常雄
営業局長 島田好久	ラジオセンター長 小原弘志
	説明員 報道制作局情報センター
	山口牧恵ディレクター

事務局

社長室長	佐藤隆夫(事務局長)
考査広報部長	野上信子(事務局員)

4.議題

・審議番組

テレビ番組

BSN新潟放送創立60周年特番

「SADO GOLDEN ROAD 世界を巡った佐渡小判」

放送日時:1月1日(火)午後2時30分~3時25分

5. 議事の概要

～番組審議委員の意見～

興味深く構成も歴史に準じていたのでわかりやすく、物語としてもおもしろかった。出演者が新潟にゆかりのある宮田亮平氏と伊勢みずほアナで、地元 roots に根ざした番組で親しみが感じられた。

鎖国時代に佐渡小判が長崎から海を渡り、インド・オランダへ旅をした。

佐渡小判がオランダで見つけて本当によかった。好奇心を上手くつないで最後までおもしろく見ることができた。

佐渡小判に焦点をあてて歴史をひも解いた。

佐渡の歴史や価値を地元の人であらためて知る機会になったのではないかな。

佐渡小判はどのように作るのか知らなかったので興味深かったが、事前の検討会の意味はどこにあったのかな。

佐渡は何度か行ったことがあるのである程度わかったが、内容が盛りだくさんのためはしり走り丁寧な説明がないとわかりにくい面もあった。

オランダの街の人へのインタビューはいらなかったのではないかな。

その分専門家の話をもっと聞きたかった。

～山口ディレクターから～

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

番組作りのためリサーチに行った時に、「佐渡は素晴らしい」と感じた。

その感動をまず伝えたいということをおいて制作した。

取材がすすむにつれ、新しいことをどんどん知ることができて楽しかった。

この番組は小判の旅の物語にしぼって、長崎・インド・オランダを取材した。

オランダに佐渡小判があることは取材の1, 2カ月前まで分からなかった。

現地で佐渡小判に巡り合えて本当に良かった。

オランダの街の人へのインタビューは、日蘭貿易開始から400年ということもあり小判にどれくらい関心があるのかが知りたくて聞いた。

佐渡小判再現のための検討会は、本物の小判作りを誰も経験したことがないので薬品の調整や事前の打ち合わせが必要であった。

【文責・番組審議会事務局】
